

有機無農薬栽培 低段密植ユニット KTM-8000

symbiotc

Nature
Nurturing
People

株式会社PPL NEXT

この機械システムは当社の微生物製剤を
最大限に利用して有機無農薬野菜などを
作るために開発されました。日本で標準な
大きさの1反のハウス内を安い価格で改造で
き収穫量も従来の3倍から4倍となり、又労働人
数も4人から2人に削減できる近代農法システム。

当社システムの特徴

- 従来のハウスと比較すれば年間売上高が300万円から2400万円になる
- 作業環境が近代化され、しゃがんでの作業がなくなる
- 有機無農薬栽培が出来る為、生産コストが低く抑えることが出来る
- 他の近代化ハウス農法と違い現行のハウスを利用できる為、初期コストが抑えられる
- ハウス内を最高6区画に分けて無人化制御できるため生産が楽である
- 有機無農薬栽培(世界初)のため海外への輸出が出来る(6次化)

トマト栽培近代ハウス比較

	当社	他社
標準広さ	330平米(1反)	330平米(1反)
就業人数	2人	4人
ハウス込システム価格(円)	4600万	6500万～1億
制御	自動	自動
年間収穫量	24トン	20から25トン
トマト販売価格	1000円/kg	165から450円/kg
農薬	不使用	使用

KTM-8000 機械仕様書

形式番号	KTM-8000
消費電力	2.8kW
電源電圧	3相AC/200/220V
外装	SUS304 IP40
使用環境温度	5～45℃
使用環境湿度	10～70%
1反ポット数A	イチゴ、トマト 8,000ポット
1反ポット数B	葉物 12,000ポット
標準制御ユニット数	4ユニット
最高ユニット数	6ユニット(オプション)

微生物使用根の比較







作物写真



現場写真



葉物写真

